

ダイバーシティ事業 国際人事交流プログラム（招聘）
研究交流報告書

報告日：2019年4月1日

招聘者氏名	種村 留美
被招聘者氏名	Lena Rosenberg, Anna Brorsson, Margarita Mondaca, Gabriele Schwarze, Hsiu-Yun Hsu, Supawadee Putthinoi
被招聘者 所属機関・職位	Karolinska Institutet, Assistant Professor Karolinska Institutet, Assistant Professor Karolinska Institutet, Lecturer FH Joanneum University, Associate Professor National Cheng Kung University, Instructor Chang Mai University, Assistant Professor
<ul style="list-style-type: none">・カロリンスカ研究所とは既に10年以上にわたって共同研究を続けているが、今回ご講義いただいたAnna先生の認知症に優しいスーパーマーケットは、日本でも行うべき取り組みであるため、カロリンスカで行われている、商標の提示方法、商品の見やすさの工夫などについて、検討した。・日本とスウェーデンで今後発展すると思われるAIやICTツールによるリハビリテーション業界への参入について、それぞれ報告し、今後の研究の展開について討議した。・台湾のNational Cheng Kung UniversityのHsiu先生は、作業療法の基礎的実験等を報告していただき、本学の教員のテーマと一致することも多く、今後、共同研究を行う可能性を検討した。・タイのチェンマイ大学とは、既に院生の交流等を行っている。高齢者のためのスマートハウスは、本学もチェンマイ大学も行っているため、これらに関する双方向性の研究について検討した。	

その後の研究交流の進捗状況
(2020年2月現在)

認知症者の在宅支援についての研究について、メールでのディスカッションを行っている。